

第7回家庭系ごみ専門部会
議事録（概要）

- 1 開催日時 平成30年4月11日（水） 10：00～11：30

- 2 会 場 707 会議室

- 3 出席者
 - （1）委 員・・・8名
山谷部会長、曾我委員、大矢委員、加藤委員、竹本特別委員、
中谷特別委員、八木特別委員、柳下特別委員
 - （2）事務局・・・7名
清田経済環境部長、谷澤経済環境部次長、小川環境課長、
吉沢課長補佐、倉橋資源循環係長、音道主事、三村非常勤特別職

- 4 傍聴者 3名

- 5 議 事

中間答申に対する自治会意見について

- 6 議事概要 以下のとおり

発言者	発言要旨
部会長	議題の「中間答申に対する自治会意見について」に関して、事務局からの説明を求める。
事務局	～資料に基づき説明～
部会長	自治会説明会の意見の取りまとめ結果について説明をしていただいたが、審議会としての考え方を整理する必要があるため、委員の皆さんの意見をお伺いしたい。
委員	戸別収集時の小規模集合住宅の集積所の設置については、不動産屋等の管理会社が管理しているものに対しては事前に入念な打ち合わせをしてもらい、集積所を設置してもらいたい。また、その結果を自治会等にも報告していただきたい。
部会長	現状は、一定規模以上の開発行為については条例や要綱で集積所の設置を定めている自治体が多いと思われるが、戸別収集導入の際には、集積所の有無を確認し、排出場所の設置をきめ細かく整理する必要がある。
委員	減免対象についてだが、後期高齢者世帯が増えてきており、年金生活世帯は経済的な負担が大きいと思う。高齢者対策は考えているのか。
部会長	他の有料化実施自治体で講演会を行った際、1人世帯の高齢者にアンケート調査を行った結果、50袋や100袋が大半を占めた。有料化をするとごみの量が大幅に減る傾向がみられる。行政としてのお考えはあるか。
事務局	自治会説明会でも同様の意見があった。この内容は自治会意見に対する一般的な考え方であり、最終的には他市の事例を踏まえて市として判断することになる。 自治会説明会で出た意見を最終答申でどのように反映させていくかについてもご意見を頂戴したい。
委員	自治会説明会でも有料化が高い安いの議論になってくる。有料化が

	<p>ありきではなく、当初の審議内容である有料化がごみの減量化策の一つであるという点をご留意いただきたい。</p> <p>家庭ごみの戸別収集を実施することで減量効果があるというニュースも見たが、戸別収集による減量効果も分かるような体制であれば望ましい。</p>
部会長	<p>有料化の目的は、全国的には「ごみの減量化」「負担の公平性の確保」「意識改革」等が一般的である。「負担の公平性の確保」がこの資料には挙げられていないが、なぜか。</p>
事務局	<p>海老名市の有料化の大きな目的は「ごみの減量化」であることから記載させていただいた。当然ながら、負担の公平性もその目的の一つであり、自治会説明会においても説明はしている。</p>
部会長	<p>負担の公平性も目的の一つとして盛り込まれているということで承知した。</p> <p>委員の先ほどの「有料化ありきではなく」とは、どういうことか。</p>
委員	<p>中間答申ではいきなり有料化の内容になっているため、まず大前提としてごみの減量化、その減量化策として有料化という構成になっていた方が市民に分かりやすいと感じた。</p>
委員	<p>燃やせるごみに混入している資源物を減らそうという意識が働けば、ごみ袋も小さくて済み、結果として市民の意識改革になる。出し方の意識が変われば、年間のごみ袋代も過度な負担とはならず、ごみ袋代の高い低いの議論にはならないのではないかと。</p> <p>いろいろな事業をおこなう上で必ず反対意見は出る。市民の意見を聞いて、丁寧に説明を行う必要がある。</p>
部会長	<p>分別をきちんとすれば負担を減らせるという説明を丁寧に行っていく必要がある。また、減免対象者や対象品目を明確にし、周知を図る必要がある。</p>
委員	<p>不法投棄については、現在も様々な問題がある。有料化だからなんでも袋に入れていいと考える人も出てくると思う。</p>

<p>部会長</p>	<p>有料化実施にあたっては、パトロールの強化の他に、地域の協力や郵便局、タクシー会社等のネットワーク機関との連携も必要である。</p> <p>また、不法投棄をしない環境づくりも必要である。歩道橋の階段下や河川、道路脇の植え込み等、不法投棄が多い箇所については何らかの対策が必要である。</p> <p>未分別ごみについては、戸建て住宅は戸別収集のため、警告シール対応となるが、共同住宅や管理人がいない賃貸アパートは排出状況が乱れがちになる。特に、転入者については以前に住んでいた自治体と同じようにごみを出す可能性もある。転入届の提出の際に、窓口でごみ袋サンプルを配布する方法もある。</p>
<p>委員</p>	<p>有料化・戸別収集は賛成だが、戸別収集のごみは出し方によっては強風で飛ぶ恐れがある。戸別収集の際には、固定容器をお勧めするような案内をお願いしたい。</p> <p>また、市の分別の基準に従って出そうとすると、台所がごみ袋で一杯になることがある。単身者はどのようにごみを分別しているのかが疑問である。</p> <p>その他、ごみ袋の出し方が自治体で異なることにより、ごみ集積所が未分別のごみでいっぱいになることがある。他自治体からの転入者に対するレクチャーは必要。</p>
<p>部会長</p>	<p>強風やカラス被害等を考慮し、バケツ等の容器で覆うことによる効果はある。</p> <p>未分別ごみについては、外国籍の方のごみの未分別等の問題が挙げられる。警告シールは基本的に効果が薄いため、管理人との連携やポスティング等の対応が求められる。</p>
<p>委員</p>	<p>収集日前日の夜にごみを出されることによる、カラス被害がある。</p> <p>その対策として、折り畳み式のボックスを貸し出している自治体もある。</p>
<p>部会長</p>	<p>市民の方がボックスを設置しやすい体制は必要と思われる。</p>
<p>委員</p>	<p>財政負担の低減に関する項目について、市としては大幅なごみ処理費用が減ると認識してよろしいか。</p>

事務局	もう少し細かく精査をする必要はあるが、概ね経費が減ると認識している。
部会長	その他、自治会の中ではどのような意見が出ているか。
委員	<p>市境に面する地域については、他市からの不法投棄が多い。</p> <p>座間市、綾瀬市には海老名市の進捗状況を情報提供するという話を聞いているが、その対応やそれに対する2市の反応はどうなっているかお伺いしたい。</p> <p>2市の住民からの話を聞くと、分別を行っているから問題はないという声もあり、温度差を感じる。</p>
事務局	<p>ごみの減量については3市の共通認識があり、座間市も綾瀬市も海老名市の動きについて把握している。他市の減量化策の話を聞くと、分別の徹底や資源化ルートの拡大を中心に検討しているようである。</p> <p>まだ、海老名市では有料化の手法等に関する具体的な方針が決まっていないため、2市も判断材料がないと思われる。実際に海老名市で有料化が実施され、減量効果が実証されることになれば、2市も有料化の具体的な話になってくるのではないかと。</p>
委員	<p>団地に住んでいるが、250世帯のうち、70～80世帯は外国籍である。ごみの出し方のパンフレットもあるが、読んでいるかは疑問である。</p> <p>また、ごみ集積所の近くでカラスに餌をあげている人もおり、曜日に関わらず集積所にカラスがいる。</p>
部会長	国際化が急速に進んでいる。
委員	不法投棄の中には事業所のごみもあり、自費で処理している。市ではどのように対応しているのか。
事務局	それはごみ集積所に不法投棄された場合の対応か。
委員	畑などの民地に不法投棄されるケースである。市に相談しても収集運搬業者の案内をされる。

事務局	<p>同様のご相談が多く寄せられる。民地の不法投棄については所有者の責任において処理することが原則である。</p> <p>有料化・戸別収集が導入によって、個人のごみに対する意識が高まり、不法投棄が減少されることを期待している。</p>
部会長	<p>最終答申のあり方や整理のしかたについて、何か意見はあるか。</p>
委員	<p>最終答申後のスケジュールに関する考え方はあるか。</p>
事務局	<p>詳細については未定だが、パブリックコメントや自治会説明を行う方向で考えている。また、自治会に加入されていない方への説明の必要もあるため、市役所等の会場で開催する必要があると考えている。</p>
委員	<p>有料化は高座清掃施設組合の新ごみ処理施設の稼働に合わせて実施するということか。</p>
事務局	<p>同時というわけではないが、高座清掃施設組合の新ごみ処理施設と資源化センターの稼働がともに平成31年度となっているため、安定的なごみの処理という点では平成31年度中が一つの目安になると思われる。</p>
部会長	<p>本日いただいたご意見をもとに、次回、最終答申にどのように反映していくかを整理していきたいと思う。</p> <p>以上で本日の審議を終了とする。</p>